

**編集後記：**2021年10月26日，準天頂衛星システム「みちびき」の初号機後継機が種子島宇宙センターから打上げられ，翌2022年3月24日から運用を開始しました（これに伴い初号機は3月25日に信号送信を停止しています）。私はこの衛星データを研究にしばしば使うのですが，みちびきは通常の衛星測位サービスに加え，日本独自の技術が詰め込まれています。そのサービスの一部，主に災害時を想定した一般向けのサービスをご紹介しますと思います。

まず，「**防災通報**」は，防災機関から発表された自然災害等の危機管理情報がみちびき経由で送信されるものです。地上インフラの被災により通信網が使えない

際に衛星経由で情報を得ることができます。最新のカーナビやスマートフォンアプリ等でも受信可能です。次に「**Q-ANPI**」は，災害時における避難所の情報をみちびき経由で管制局に送信することができるサービスで，避難所の位置情報や避難者数などの情報把握が可能となります。

このようなサービスは他国の測位衛星にはありません。多様な技術を詰め込みすぎてガラパゴスとも揶揄されがちな「みちびき」ですが，いつも準天頂から情報を送ってくれています。

（藤田実季子）